

地域自然史と保全

Bulletin of Kansai Organization for Nature Conservation

特集 これからのレッドデータブック
ー地域の生物多様性保全のツールとしてー

Volume 34
Number 2
December 2012



関西自然保護機構
Kansai Organization for Nature Conservation

表 紙 の 言 葉

ナニワトンボ

写真・文 平井 規央

大阪の地名を冠したアカネ属のトンボで、成熟したオスは写真のように全身が青色になるため、「青い赤とんぼ」としても知られる。体長は3～4 cmと同属の中でも小型。全国的に衰退が著しく、環境省レッドリストでは絶滅危惧II類にランクされている。大阪では現在でも南部に比較的広く分布するが、個体数は減少傾向にあるといわれ、大阪府レッドデータブックでは準絶滅危惧にランクされている。秋に水位が下がり、露出した地面に産卵するため、昔ながらの池干しが行われる池で個体数が多い。農業の衰退によるため池の減少や管理の変化が続くと、本種の名前の由来となった大阪でも見られなくなる日が来るかもしれない。

写真：2011年9月22日撮影

関西自然保護機構（KONC：Kansai Organization for Nature Conservation）

KONCは自然環境保護にかかわる人たちや関心を持つ人たちを幅広く組織して、自然環境保全に関する各分野での研究を結集し、その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして、1978年に創立されました。

KONCはその活動の成果と、会員個々人の学識と経験の蓄積にもとづいて、近畿地方に於ける広い意味での自然保護の諸問題に対する有力なアドバイザー・ボディ（助言勧告機関）として、社会の要請にこたえることを企画しています。

現在、次のような活動をしています。

1. 基礎研究の実施
2. シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
3. 現地見学会の開催
4. 研究助成金の交付
5. 会誌・連絡紙の発行
6. 自然保護に関する基礎資料の収集と配付
7. 自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
8. 国内外の諸団体との連絡・協力

会の活動は、個人会員・維持会員の会費により、まかなわれています。